



バイエル薬品株式会社  
〒530-0001  
大阪市北区梅田 2-4-9  
TEL 06-6133-7333  
[www.byl.bayer.co.jp/](http://www.byl.bayer.co.jp/)

## News Release

### バイエル薬品、前立腺がん患者・家族の会「腺友倶楽部」、 がん患者支援団体「<sup>せんゆう</sup>キヤンサーネットジャパン」と前立腺がんセミナーを共催

もっと話そう前立腺がん転移のこと ～くらしを守る早期対応のすすめ～

- 前立腺がん転移の認知拡大を通じ、患者さんの QOL 維持・向上に貢献を目的
- 第 1 回セミナーは 6 月 24 日(日)に福岡、9 月以降に岡山・札幌・仙台で開催予定
- 来場者が共に考え学ぶ、来場者参加型セミナー

大阪、2018 年 6 月 8 日 —バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:ハイケ・プリンツ、以下バイエル薬品)は、前立腺がんの患者さんおよび患者さんのご家族の方を主な対象に、2018 年に、全国 4 カ所で「前立腺がんセミナー もっと話そう前立腺がん転移のこと ～くらしを守る早期対応のすすめ～」を NPO 法人 腺友倶楽部(以下、腺友倶楽部)と認定 NPO 法人 キヤンサーネットジャパン(以下、キヤンサーネットジャパン)と共催いたします。第 1 回セミナーは 6 月 24 日(日)に福岡で開催、9 月以降に岡山・札幌・仙台で開催予定です。

前立腺がんは日本でも増加傾向にあり、2017 年の予測罹患数は約 86,100 例と、男性のがんで胃がん、肺がんに次ぐ第 3 位と、患者数の多いがんです\*1。前立腺がんは進行の遅いことが多いと言われていますが、一方、転移を起こす割合が高いことはあまり知られていません。例えば前立腺がんが進行し、去勢抵抗性前立腺がんと呼ばれる状態になった患者さんのおよそ 80%以上が骨転移を有しており、骨折や骨折からくる衰弱、骨の痛みなど日常生活に支障を来す症状が表れることから、早期診断や治療が重要となります。

また、バイエル薬品が 2017 年 12 月に、前立腺がんの治療経験のある患者さんおよび前立腺がん患者さんのご家族に行ったアンケート調査\*2では、患者さん、ご家族ともに、もっとも不安に感じていることは「がんが転移しないか」であり、治療にあたってもっとも重視するのは「日常生活を行なう上で動作が保てること」という結果が明らかになりました。

これらのことからバイエル薬品は、患者さんや患者さんのご家族へ、骨転移を含む前立腺がんの転移について知っておくべきこと、転移の早期発見や治療の重要性についてより深く理解して頂ける機会を提供することを通し、患者さんの QOL 維持・向上に貢献したいと考え、腺友倶楽部とキャンサーネットジャパンとの共催により、本セミナーを開催することといたしました。本セミナーは情報提供だけにとどまらず、来場者が共に考え学ぶ来場者参加型のセミナーです。

腺友倶楽部理事長の武内 務氏は、本セミナー開催について以下のようにコメントしています。「前立腺がんが男性特有のがんであり、進行が遅いことについては知られていますが、転移についての情報はまだまだ少ないのが現状です。前立腺がんに立ち向かう患者の一人として情報収集に大いに苦勞した経験を糧に、前立腺がん患者のネットワーク構築や、患者同士がサポート、アドバイスできる機会を提供するなど長年にわたり活動を続けてきました。さらに、本セミナーの開催を通じて全国の患者さんへの情報提供でお役に立てることを大変うれしく感じております」

また、キャンサーネットジャパン理事長の岩瀬 哲氏(埼玉医科大学病院 緩和医療科 教授)も、「この度、前立腺がん転移をテーマにしたセミナーを、腺友倶楽部、バイエル薬品とともに開催することへ大きな意義を感じています。前立腺がんの転移を起こす割合が高いことへの認知を広げることだけでなく、転移の心配をされている患者さんへ、適切な診断・治療を受けるための正しい情報を発信することで、QOL を維持する一助となればと考えています」とコメントしています。

セミナーでは開催各地の前立腺がん領域における専門の医師をお招きし、転移の診断や治療について分かりやすく解説をいたします。また、前立腺がんの骨転移を経験された患者さんの講演、来場者との双方向型パネルディスカッションを通じ、治療を続ける中で転移について気を付けるべき点や、日常生活を守るための心得を共に考え、学ぶ機会を提供いたします。

\*1: 「最新がん統計: がん登録・統計」国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センターより

\*2: バイエル薬品 2018 年 1 月 31 日発表 「前立腺がん患者さんと家族の情報共有に関する意識調査結果」より

調査時期: 2017 年 12 月、調査対象: 前立腺がんの患者さん 103 名・同居している家族に前立腺がん患者さんがいる方 103 名

### バイエルのオンコロジー領域について

バイエルは、革新的治療薬の品揃えを充実させることで、「Science for a better life」をお届けできるよう取り組んでいます。バイエルのオンコロジーフランチाइズには 4 種類の抗癌剤と、臨床開発のさまざまな段階にあるその他いくつかの化合物があります。これらの製品・化合物が、バイエルの研究に対するアプローチ、すなわち、癌の治療法に影響を与える可能性のある標的やシグナル伝達経路を優先するという姿勢を示しています。

### バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと農業関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。バイエルはその製品とサービスを通じて、人々のクオリティ・オブ・ライフ (QOL) の向上に貢献すると同時に、技術革新、成長、およびより高い収益力を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に対して、そして良き企業市民として社会と倫理の双方で責任を果たすために、これからも努力を続けます。グループ全体の売上高は 350 億ユーロ、従業員数は 99,800 名 (2017 年)。設備投資額は 24 億ユーロ、研究開発費は 45 億ユーロです。詳細は [www.bayer.com](http://www.bayer.com) をご参照ください。

### バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルス、動物用薬品の各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」をはじめ、アレルギー性疾患治療剤や皮膚科領域に注力しています。動物用薬品事業部は、動物用医薬品の提供を中心にコンパニオンアニマルおよび畜産動物のヘルスケアに貢献しています。同社は、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は [www.by1.bayer.co.jp/](http://www.by1.bayer.co.jp/) をご参照ください。

バイエル薬品株式会社  
2018 年 6 月 8 日、大阪

### 将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 ([www.bayer.com](http://www.bayer.com)) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。